

日本医療検査科学会第54回大会

機器・試薬セミナー 1-2



日時 2022年10月8日(土)
13:00~15:00

会場 第2会場(神戸国際会議場 3F 国際会議室)

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1

座長 横崎 典哉 先生 堀田 多恵子 先生
広島大学 九州大学病院

卓上型の 全自動化学発光酵素免疫測定装置 AIA-CL300のご紹介

演者 木下 俊佑
東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部

当セミナーの参加には医療検査科学会第54回大会への参加登録が必要です。
詳細は大会のホームページをご確認ください。

<https://jcls.or.jp/convention/54th/>

JACLaS EXPO 2022 展示会のお知らせ

会期 2022年10月7日(金) 9:30~17:30 会場 神戸国際展示場
10月8日(土) 9:30~17:30 東ソーブース番号No.B-19(1号館1F)
10月9日(日) 9:30~14:00

卓上型の全自動化学発光酵素免疫測定装置 AIA-CL300のご紹介

演者：木下 俊佑（東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部）

超高齢化社会における外来患者数の増加や働き手の減少などにより、感度・精度などの基本性能はもとより、迅速性、操作性など臨床現場のニーズは多様化している。これらのニーズに応えるべく、当社ではAIA-CLシステムとしてAIA-CL2400（大型機：最大240test/h）、AIA-CL1200（準大型機：最大120test/h）と専用試薬（AIA-パックCL試薬、研究用試薬）を既に市場に提供しており、高い基本性能、迅速性に加えて、検体希釈や校正試薬調製の自動化などの操作性向上による、業務の効率化においてもご好評をいただいている。

この度、AIA-CLシステムの大型装置と同じ専用試薬の全項目が測定可能で、基本性能、操作性を継承しながらも、卓上に設置可能な化学発光酵素免疫測定装置「AIA-CL300」（小型機：最大30 test/h）を開発したのでその特徴についてご紹介する。

①サイズ

- 520 mm (W) × 640 mm (D) × 660 mm (H)
- 卓上に設置可能なコンパクトサイズ

②性能

- AIA-CLシリーズ専用試薬の全項目が測定可能
(57項目以上。新型コロナウイルス関連の研究用試薬も含む。)
- 大型機と同等の基本性能でデータ互換性を確保
- 最短15分の結果報告時間
- 凍結乾燥された試薬により、検量線有効期間90日と高い安定性
- モノテスト形式の試薬、カップ化した基質により、検査数の増減に無駄を抑えて対応できる柔軟性

③操作性

- 検体、試薬類をセットしてワンタッチで測定可能
- 自動検体希釈、自動校正試薬調製によりミス防止や省力化
- 二次元コード読取りによる簡単な試薬登録
- トレーサビリティ管理、精度管理機能
- 日常点検予約機能により、朝出勤すればすぐ測定可能
- 大型機と比較してわずかなスペースで設置可能でありながら、大規模施設におけるバックアップ機としてのご利用も可能で、お客様の環境・状況に応じて様々な形で貢献できる装置となった。「AIA-CL300」をラインナップに加え、24時間365日電話受付可能などのアフターサービスと共に、引き続きお客様に貢献していきたいと考えている。

